

かんごぶ〜だより 2月号

キャリア開発ツールの変更について キャリア支援教育委員会

看護部では、1994（平成6）年より「臨床実践能力評価表」（以下、現行ラダー）を用いて、個々の看護実践力を把握し、その向上を支援してまいりました。これまで、数回にわたり評価表の改訂を重ねてきましたが、平成28年日本看護協会が、あらゆる施設や場におけるすべての看護師に共通する看護実践能力の標準的指標として「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（以下、JNAラダー）を公表したことを機に、現行ラダーの見直しを行い、**JNAラダー**を基盤にした「**クリニカルラダー**」を導入する運びになりました。しかしながらJNAラダーはクリニカルに特化しているため、現行ラダーの組織的役割遂行能力や社会人基礎力、自己教育・研究等の側面は「**マネジメントラダー**」として機能させることにしました。さらに、この2つのラダーに「新人看護職員ガイドライン」を加え「**キャリア開発ツール**」と総称し、新年度より運用することになりました。と、申しましても、異文化を取り入れるわけではありません。現行ラダーとJNAラダーを比較・整理しただけです。皆さん一人ひとりが描く「将来像」に近づくために、「**キャリア開発ツール**」を役立てていただければ幸いです。

運用の手引きや、改訂の経緯等をご覧になり、上手く活用し「変わってよかった」という声が寄せられることを心待ちにしております。今回、イメージの促進を図るために、概要の一部を載せました。早く馴染みのものになることを願っています。尚、「**看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）**」活用のための手引きの確認もお忘れなく！

看護実践を支える4つの力

ケアの受け手が立ち会う場面（治療、最期の迎え方等）において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える	意思決定を支える力	ニーズをとらえる力	ケアの受け手をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する
ケアの受け手を中心に、情報やデータを多職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する	協働する力	ケアする力	ケアの実施・評価を行う（PDCAサイクルや看護過程の展開）

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」活用のための手引き より

